

01-02 山下洋輔インタビュー「機は熟した!？」

03-04 歌舞伎ソムリエの「松竹大歌舞伎 徹底解説！」

05-07 「“のだめカンタービレ”の音楽会」インタビュー
オペラ歌手 宮本益光／名古屋フィルハーモニー交響楽団

08 この漫画を読み! vol.12 オペラ漫画

09-10 INFORMATION

11 展覧会「となりの人びと」まちなか会場レポート

12 わたしレポート

13 突撃! PiPi提携ショップ『いわま楽器』

14 校歌は地域をうたう vol.21





世界的ジャズ・ピアニストの山下洋輔率いるスペシャル・ビッグバンドが春日井に五度目の登場を果たします。待望の新作『ノッキン・キャッツ』にはじまり、ジョージ・ガーシユイン作曲『ラプソディ・イン・ブルー』、ドヴォルザークの交響曲第九番『新世界より』と、屈指の人気レパトリーを組み合わせさせた贅沢なプログラム。垂涎のステージの前に、山下さんを直撃しました！

取材 三月一日@新宿ピットイン・スタジオ
取材協力 フリーペーパーMEG
テキスト 小島祐志(家鴨の編集長)
写真 戸井田夏子

満を持して贈る豪華プログラム

ラプソディ・イン・ブルー × 交響曲“新世界より”
新曲“ノッキン・キャッツ”

機は熟した!?

——まず新曲『ノッキン・キャッツ』について教えてください。

これまでオーブニングは、人の曲だったんですが、そろそろ自分の曲でオーブニングをやってみたいと思いました。それにふさわしい曲を鋭意制作中です。

——え？制作中??

あ、いや、間もなく完成です！今も（取材場所にあった）このピアノでだいたいのスケッチができたところで、決して切羽詰まっています（笑）。『ノッキン・キャッツ』は暮開けでひとりひとりを紹介しようという意図の曲です。例えばアドリブの後で「トランペット、エリック宮城！」という風に奏者を次々に紹介していく。セクションごとに全員を紹介するオーブニングになります。

——ビッグバンド結成十年以上経ちますが、初の書き下ろしとは意外です。

自分の曲は今までもやっているんですが、書き下ろすのは初めてですね。やりたいことがたくさんあって、まずそっちをやってしまったので、新曲の入る余地がなかった（苦笑）。そして、いろいろやってみた経験で一曲目は大事だな。エリントンやベイシーをやったりしてきましたが、そろそろ自分の曲もいかなという時期が来たんです。

——その後は『ラプソディ・イン・ブルー』『新世界より』と、大作が続きます。交響楽団との『ラプソディ・イン・ブルー』は物凄くたくさんやっているんですよ。ついこの間は、とうとうウイーンのムジークフェラインでやってきました。佐渡裕さんの指揮で黄金のホール。「ジャズマンの横入り」極まっちゃいましたね（笑）。でも、僕らには編曲の松本治さんと作ったジャズ版があるんです。結成した瞬間ぐらいから

スタッフ 山川愛のちよっと言わせて!

私の“新世界”
山下さんにお会いするたび、ホント素敵な大人の人だなあ〜、ふお〜って、感嘆とります。一度たりとも同じでなく、毎回ワクワクなのは、その音楽も！これが私の見ている“ニューワールド”です。



アイデアがあつて、レコーディングもしている。自分の中の『ラプソディ・イン・ブルー』が増えるにつれ、ジャズマンだけでやるスペシャル・ビッグバンド・バージョンを思い返し始めたんです。春日井でも六年前に演奏しています。以降ずつとやっていたので、もう一回お聞かせしちゃうかなと。

——『新世界より』を組み合わせたのは？
これはまた、すごく気持ちよくやる曲でね。僕自身、ビッグバンドでやったおかげで気に入っちゃって、全部覚えたし（笑）、もったいないから自分のジャズコンボでも最近はずりやっています。レパトリーにしてるんです。もともと第一楽章から全部はできないので、第四楽章の抜粋ですけど。そこに“家路”を入れちゃったり、好き勝手なこと

はいろいろできる。

——尺八とは、想像がつかみません！

面白かったですよ。観客に怒られて蹴り出されるかと思ったら、思いのほか喜ばれた。こんなにヘンになったかという鑑賞眼ですね。ちなみに、向こうでドヴォルザークは「ドヴォ×××××」と言わないと通じない。この発音は活字にできないですね（笑）。チェロの山本祐ノ介には「ドヴォルザークの本当の名前は、口から味噌汁を吐き出しながら言わないとダメだ」と言われました。

——（笑）。それにしても、『新世界より』の力や強度とはいったい……。

それを僕も感じました。何が入っても、どうやっても大丈夫な構成を持っているんです。だから、やればやるほど魅力的。そういうことがどんどんわかってきて、ぜひ今度もやりたいと思った。これはちょっとハズせない。今回は満を持して第一楽章から第四楽章までやりますよ。

コトスロバキアに行く機会があった時には、僕が「絶対ドヴォルザークをやりたい！」と言って、尺八入りでやっつきちゃった。それぐらい『新世界より』

山下洋輔

ジャズピアニスト



【脚注】※1 デュク・エリントンとカウント・ベイシーのこと。20世紀アメリカを代表するジャズ・ピアニスト。※2 ウィーン楽友協会の名称でも知られるクラシック音楽関係者の団体。及び、その建物。1812年設立。※3 ウィーン楽友協会の大ホールの通称。※4 早坂紗知。サクソフォーン奏者、作曲・編曲家。

初役で魅せる 忠臣蔵外伝!

松竹大歌舞伎 徹底解説!

テキスト = おくだ健太郎



おくだ 健太郎 (歌舞伎ソムリエ)
1965年、愛知県生まれ。大学入学で上京後、歌舞伎に出会い熱中、立ち見席に通いつめる。現在、歌舞伎イヤホンガイド解説者。歌舞伎のトーク会「おくだ会」、御園座若鯉カブキクラブなどで、歌舞伎の楽しさを伝えるため、多方面で活動中。
HP「おくだ健太郎・歌舞伎ソムリエ」http://okken.jp/

今年の歌舞伎公演は、市川染五郎さんと中村孝太郎さんが中心の、フレッシュな顔ぶれでお楽しみいただくこととなりました。

染五郎のあたたかな意気込み

今回の公演は、染五郎さんのご挨拶が始まります。襲名披露の公演のときに、「口上」といって、その一座の主だった役者さんが舞台上にそろって、棒姿で一人ずつ言葉を述べていく一幕があります。舞台と客席とが和やかな

且つシャキッと引き締まった空気での体になる、素敵なひと時です。その役目を、今回は染五郎さんが一座を代表して、単独で勤めます。日ごとに暑さを増す七月、連日の移動を重ねてやって来る巡業公演の、最初のひと時がお客様へのご挨拶——あたたかい意気込みが伝わってきますね。盛大な拍手、歓声でお迎え下さいませ。

孝太郎が舞う! 躍動的な布晒し

続いては、「晒三番叟」という舞踊です。三番叟というのは、お能の「翁」という荘重な作品をもとにした歌舞伎舞踊です。翁・千歳・三番叟という三



イラスト=瓜谷 茜 (かぶきゅーと)

スタッフ 後藤友介のちよっと言わせて!

ムツとづんだ「への字口」に緊張感が漂う。

『松浦の太鼓』のワンシーンである両国橋のイラスト。これから吉良邸に討ち入りするという厳しい表情が、凜とした冬の寒さとともに緊張感を高めます。解説を読むもよし、イラストで想像を高めるもよし。公演を前に本特集でイメージトレーニング!



知っていれば、歌舞伎がもっと楽しい! 2大セミナー

葛西聖司の
其の一 極付! 歌舞伎セミナー
NHKで伝統文化番組を担当し、圧倒的な知識と軽快なトークで歌舞伎の面白さを伝える葛西聖司が、役者や演出の見どころをたっぷり解説します。
6/5 (日) 14:00 ~ (開場は30分前) | 春日井市民会館
[チケット情報] 4/23 (土) ~ 発売
[料金] ¥500 (松竹大歌舞伎春日井公演のチケット提示で無料)



葛西聖司 (アナウンサー)

おくだ健太郎の
其の二 水徳特製弁当付き! 歌舞伎ソムリエの直前解説
「昼の部」を前に、公演のみどころ解説を聞きながら、春日井の名店「水徳」が特別につくる歌舞伎弁当をご堪能ください。
7/18 (月・祝) 10:30 ~ 11:30 (開場は15分前) | 文化フォーラム春日井・視聴覚ホール
※料金、申込方法は次号発表



昨年の歌舞伎弁当

者が、天下泰平や五穀豊穡を祈つて、ときに格調高く、ときに躍動的に踊るのが本来の形式です。しかしそこから様々なパリエーションや変形バージョンも派生しました。『晒三番叟』は、通常は立役(男性役)が勤める三番叟を、女形が勤めます。晒:細長い晒布を、クルクルと美しくひるがえす演出も楽しみます。孝太郎さんをご覧くださいませ。

歌舞伎×俳諧!? 松浦侯の喜怒哀楽が楽しい狂言

その次が、何といっても今回のメインの演目『松浦の太鼓』です。秀山十種の内とありますが、秀山とは高浜虚

子に師事し、俳句の名手としても知られた、名優・初代中村吉右衛門の「俳号」です。彼が得意とし、大切に練り上げた家の芸を、秀山十種と呼ぶのです。主人公のお殿さま・松浦鎮信を勤める染五郎さんは、初代吉右衛門のひ孫にあたります。今回が初役(そのお役を初めて勤めること)です。この松浦のお殿さまも、俳句や連歌が大好きな人です。そして、赤穂浪士の仇討ちを率いた大石内蔵助とは、青春時代に山鹿流の兵法(戦の様々な極意)を共に学んだ友です。しかも、彼が住んでいる屋敷は、なんと討ち入りの現場となった、吉良上野介の屋敷のすぐ隣なのです! すこい設定ですねえ(笑)。旧友・内蔵助が打って鳴らす、討ち入りの陣太鼓の響き——松浦侯はどんな思いでそれを聞くのか? そして赤穂浪士の一人で、これまた俳句の名手・大高源吾と俳人・宝井其角が詠み交わす、意味ありげな五・七・五と七・七のやりとり——と、見どころいっぱいのお芝居です。

江戸の風俗を感じさせる 楽しい舞踊

最後は、染五郎さんと孝太郎さんが仲睦まじい夫婦



に扮する「栗餅」という舞踊です。栗をついた出来たてのお餅を街中で実演販売する様子を、明るく描きます。団扇を用いた様々な振り付けが楽しいです。デパートやテレビショッピングの実演販売って、思わず見入ってしまうような、ワクワクした雰囲気がありますよね。あれを歌舞伎の踊りで表現するとこんな感じですよ、という朗らかな作品です。

どれもこれも本当に楽しみ! ご期待下さいね。

一、ご挨拶
二、晒三番叟
三、十種の内山松浦の太鼓
四、栗餅

常磐津連中

松竹大歌舞伎

7/18 (月・祝) 昼の部 12:00 ~ / 夕方の部 16:30 ~ (開場は30分前) | 春日井市民会館
[料金] 昼の部 S席¥7,500、A席¥5,500、B席¥3,500 / 夕方の部 S席¥7,000、A席¥5,000、B席¥3,000 PiPi会員は左記金額の¥300引き 全席指定、当日券同額、未就学児入場不可
[チケット情報] ●PiPi会員はがき先行申込 4/9 (土) (消印有効) ※会員期限が2016/3/31以降の方のみ申込可 ●Web先行予約 4/20 (水) ~ 22 (金) ●一般発売 4/23 (土) ~
[取扱い] 文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、東部市民センター窓口、電話&Web予約、チケットぴあ (Pコード449-870)



市川高麗藏 嵐橋三郎 中村孝太郎 中村歌昇 市川染五郎



宮本益光

オペラ歌手
INTERVIEW
構成、パパゲーノ

生で聴く
のだめカンタービレの音楽会
Mitsunori Miyamoto Concerto

黒い薔薇歌劇団

漫画のだめカンタービレの「アンコールオペラ編」(24、25巻)に登場する白い薔薇歌劇団。それを借りて、「黒い薔薇歌劇団」を構成してしまっただのが、オペラ歌手の宮本益光さんです。漫画の監修も務めた宮本さんに、「魔笛」の魅力や本公演の見どころを伺いました。

取材：スタジオ小松淳子 写真：テキストスタジオ 山川愛
三月一日@二期会会館(東京)



まさに「魔笛」だな

があるとか？

モーツァルトに叱られちゃいそうだがどね。(笑)『魔笛』は二百年前にドイツ語で書かれたオペラですから、「日本の一般人に分かるの?」って思われるかもしれない。だけど、モーツァルトには「みんなで音楽を楽しみましょう」という基本姿勢があるんです。そこは外したくない。『魔笛』の中には「この笛があったら全ての悩みが解決するよ」

モーツァルト オペラ「魔笛」
原作第25巻 AKT10



惜しまれつつも完結したと思ったら、なんとも嬉しい番外編で、のだめちゃんに再会です。しかも場所は日本に移り、千秋はR★Sオーケストラとともにオペラを振る。菅沼アキラが主役、峰が演出で!?

という歌詞があったり、シヨッカーみたいな悪者が現れる場面で、鈴が鳴ると静まりかえったりする。この「笛」と「鈴」という二つのアイテムを、僕は「音楽」として捉えたい。音楽があることで、人は幸せになれるし、繋がりがあえる。争いや怒りも消える、そういう生き方を良い音楽で示したいんです。そこで「笛」と「鈴」を人に置き換えて、ダンスやフルート奏者が演じます。

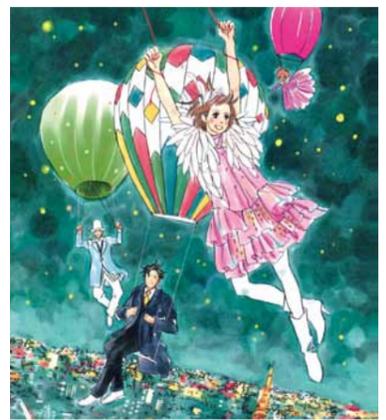
——パパゲーノには、どんな思い入れがありますか？

パパゲーノには大きなソロ曲が三つあります。そのうちの二つは、同じメロディーを繰り返し歌うアリアで、一番を覚えれば二、三番は歌えてしまいます。誰にでも歌えるメロディーを素朴に純粹に歌うことによって、客席との距離が縮まるんですね。要は民謡なんです。モーツァルトは客席との架け橋としてパパゲーノを考えました。音楽ではそんな酒を飲んで寝て、恋人がいれば他に何にもいらないって言うんです。人間に必要なもの以外をそぎ落とし、究極の部分だけで良いと舞台上で言ってしまう。

そんな奴、憧れちゃいますよね。タミーノと違って修行に挫折するおバカキャラのくせに、すごくカッコいい。人として、実はこいつが一番すごいんじゃない?

——音楽家からみて、漫画「のだめカンタービレ」の魅力はどこにありますか？

例えばある職人さんの修行期間を切り取って、自分たちの生活に置き換えてみた時に「あ、同じじゃん」っていうのと似ている。そういう音大生にとってリアルさと同時に、人間の苦悩や喜び、いろんな関係性がたくさん書いてあって、素敵だな、と。ベートーヴェン



ある意味、革命児だと思います。

——そんな役も演じながら、ストーリーテラーもされますね。

まずはタキシードを着て「オペラは四百年前にイタリアで始まったもの。人間が声を磨き、オーケストラとともにホールで生声を響かせてやるものだから、学校やカラオケで歌っているものの延長戦なんだ」という話をしようと思います。あと、『魔笛』の話もね。そこからパパゲーノに扮装します。もともと僕は教員志望で、まさか歌手になるとは思っていなかった。だから、レクチャーやトークも、歌手としての自分とブレはないんです。今回の公演、『魔笛』で二ノ宮先生のイラスト入りのチラシなんて、まず無いですよ。東京の人は羨ましがらんじゃないかな? そんな羨ましが先取りができるコンサートにしたいな、と思っています。

の何番だとか言われてもクラシックに馴染みのない人はわからないけれど、それを超えて、あれだけのだめが面白いのは、人が描けている。からだと思うし、そこに共感しますね。

——宮本さんは「アンコールオペラ編」の監修をされていますが、二ノ宮知子先生(漫画原作者)とは、どのようなお話をされましたか？

音楽家からすると、オーボエ協奏曲などでモーツァルトを振ってきた千秋が、このアンコール編でもう一度モーツァルトとオペラという壁に当たる……というのが面白いのでは?と、先生に『魔笛』をご提案しました。モーツァルトは貴族階級の娯楽だったオペラを、一般大衆、自分たちの手に持つてこようとしたんです。ドイツ語でオペラを書くっていうのは、そういう意味があるんです。映画『アマデウス』の中でもモーツァルトがグロッケンシュピールを弾くシーンがあるんだけど、漫画では、だめがチェレスタを弾くことによって、千秋が音楽で救われていくのもありじゃないか?と思っただけです。二ノ宮先生の漫画は予想以上のストーリーで、感動しました。アンコール編は、一冊で終わる予定が二冊になったんですよ。凄いなあ。

——今公演は、「黒い薔薇バージョン」の魔笛です。宮本さんならではのアレンジ



by 宮本

メインキャラクターを演じる三人を紹介します。日本を代表する主役級の歌手たちは、はつきり言って、最強です!

鈴木准(タミーノ)

ほとんどの『魔笛』公演でタミーノ役を演じるジュンジュン。「新国でも二期会でもタミーノ総なめだね」って言ったら「あいちトリエンナーレもね。大きいことばかりでさ」って。黒薔薇はどうでした!? 最初に言わんかい! (笑)

針生美智子(パミーナ、夜の女王)

何度も一緒にやっていると音を外したとこを一度も見たとなく。安定感も歌心もある。今回パミーナと夜の女王の二役を演じます。どちらかのスペシャリストはいるけど、歌い分けてくださるのはこの人だけ。

鵜木絵里(パパゲーノ)

モーツァルトの時代に彼女がいたら、こういう人に曲を書きたいんじゃないかな?と。それぐらい個性が強い人です。鵜木さんの台詞は皆さんに喜ばれると思います。僕が舞台上で笑わないか、それだけ心配(笑)。



創立五十周年を迎える、東海地方を代表するオーケストラ 名古屋フィルハーモニー交響楽団

——今年七月に創立五十周年を迎えられるそうですね。

五十年前、東京や大阪には既にプロオケがあり、「名古屋にも！」という機運が高まっていました。そこで、清田健一さん（初代指揮者）たちが発起人になり、この地方の演奏家を集めてオーケストラを作りました。その後、外山雄三さんをはじめ素晴らしい音楽家たちの手により、現在の名フィルが確立されました。規模は東海地方では最大のサイズです。ここ十年は近現代音楽を得意とする人が指揮者を務めてきたので、二十世紀音楽には特に評価を頂いています。ただ逆に古典を取り上げる機会が減っていたので、四月から小泉和裕さんを音楽監督に迎え、さらなる演奏力の強化を図ります。



小出篤さん(左)、岩澤陽介さん(右)

——定期演奏会は、革新的なプログラムでいつも驚かされます。

当楽団は公益財団法人であるが故に、市民にどんな音楽を提示すべきかを常に考えています。聴いたことがないような、でもとても素晴らしい作品を紹介することも我々の存在意義。それが革新的なイメージになっているのかもしれませんが。——今回の「のだめ音楽会」のプログラムはいかがですか？

『魔笛』は笑いの要素が多いので、初オペラの方でも楽しめます。オペラをやる機会は意外と少ないので、我々も楽しみです。『ベト七』は、よく聴くと「ターリタタッ、ターリタタッ」というリズムに全編支配されています。一つのモチーフで、これだけ多様な組み立てが出来るのは、ベートーヴェンの才能ですね。因みに『運命』は「ジャジャジャジャーン」のリズムだけで構成されています。リズムを予め覚えておいて、聴いてみるのも一興。ある指揮者は「ベートーヴェンは何十回振っても飽きない」と言っていました。客席も奏者も楽しめる、それがベートーヴェンの素晴らしさですね。



ベートーヴェン 交響曲第7番
原作第9巻 Lesson50

TVドラマ「のだめカンタービレ」のオープニング曲。千秋はSオケで初めて指揮し、その後もポイントごとに振ってきた「のだめ」を象徴する名曲です。

専門家のアドバイスが、 漫画のリアリティーを深める。

漫画「のだめ」の真骨頂でもあるリアルな演奏描写。それは茂木さんや宮本さんをはじめ多くの音楽家への丁寧な取材の上に成り立っています。漫画の中でテノール男子が「クーラー止めてもらえない？のどの調子崩すからさー」と騒いで、まわりのおデブちゃん達を怒らせる場面は、宮本さんのアイデア。私なんかハハハって笑っちゃいますけど、音楽家にとっては大事な事なんです。

スタッフ
伊藤早恵の
ちよっと
言わせて！



高校生ヤクザと熱血音楽教師による、奇跡の歌声

高校で音楽教師を務めるサンジンは、「学校の名声を高める！」という校長からの命令にうんざりしながら、漫然と日々を過ごしていました。そんなある日、ジャンホという学生が転校してきます。顔を見てびっくり！先日、サンジンの車とトラブルを起こしたヤクザが彼だったのです。歌が上手い、という彼の評判を聞き、校長が受け入れたこの問題児を、サンジンは無視し続けます。業を煮やし、「自分の歌を聞いて欲しい」と直談判してきたジャンホの歌声を聴いたとき、サンジンの心にある想いが沸き上がるのです。

ヤクザとオペラ、正反対のイメージですが、なんとこの映画は実話なのです。

す。韓国のオーディション番組から有名になった美声の高校生と、その彼を指導した先生がモデルとなっていました。

ジャンホが音楽の道に進むには、ヤクザから足を洗わないといけないのですが、「辞めます」と言っただけで辞められる世界ではありません。さあ、彼は足抜けできるのか!? 凄みのある親分を前に、手に汗握る展開が待っています。

それでも、あくまでこれは音楽映画。逆境に立ち向かう彼の歌声には、音楽への渴望と歌うことへの喜びが溢れています。オペラの名曲と共に描かれる師弟愛に、胸を熱くする作品です。



© 2013 KM CULTURE ALL RIGHTS RESERVED.
監督：ユン・ジョンチャン 2013年 / 127分 / カラー / 日本語字幕

第56回かすがい日曜シネマ 「パパロッチェ」

5/29(日) ① 10:15～ ② 13:45～ ③ 16:45～

(開場は15分前) ※各上映前に15分のミニトーク有

文化フォーラム春日井・視聴覚ホール

[料金] ¥900(当日¥1,000)、ペア ¥1,700(当日¥1,900)

PIPi会員 ¥800、ペア ¥1,500(ともに当日同額)、U25チケット

¥500(25歳以下対象・16:45～のみ) 全自由席、上映時間指定、3歳以上有料

[取扱い] 文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、東

部市民センター窓口、電話予約

※目の不自由な方向けに、台詞や情景をイヤホンで案内する音声ガイドあり(②13:45～のみ)

小松淳子の この漫画を読め！

vol.12 / オペラ漫画 選・テキスト=スタッフ 小松 淳子

オペラ歌手になりたい！
歌への情熱を描いた
オペラ漫画をご紹介します。



映画化、舞台化されたオペラ漫画の名作 プライド◎一条ゆかり/集英社(全十一巻)

今は亡き有名オペラ歌手を母に持ち、社長令嬢として何となく暮らす史緒。方や、貧しい母子家庭で苦勞して育った萌。二人の運命は、父の会社が倒産して行き場の無くなった史緒が、銀座の高級クラブで歌手として働き出したことから、複雑に絡み合っていきます。互いに類まれな美声を持ち、一緒に歌うと極上のハーモニーを生み出す二人。しかし、彼女たちに影響を与える男性二人も絡んできて、昼ドラばりの、ドロドロした四角関係の愛憎劇が繰り広げられます。

それでも、史緒のどんな時でも誇りを失わない高潔さは、女性として憧れ

の存在です。その完璧な彼女に嫉妬する萌の想いも、女性なら共感できるポイントかもしれません。ベテラン作家・一条ゆかりが、愛憎渦巻くオペラの世界に挑んだ名作です。



最終巻を読んだとき、あまりの興奮に3度読み返しました。最終巻のプロポーズのシーンは、何度読んでも悶えます…うう。

三十年近くたって色あせぬ名作 笑う大天使◎川原泉/白泉社(文庫版全一巻)

お嬢様学校として有名な女子高に通う、ちよっと変わった三人組が巻き起こす騒動を描いたこの作品。その中で描かれる「オペラ座の怪人」。コミックが出た当時、中学生だった私は、初めて漫画を読んで泣きました。オペラ歌手ハル君と彼のクマのぬいぐるみルドルフ。このルドルフの献身に涙腺崩壊。個人的に、川原作品の最高傑作です。



ファンから「教授」と呼ばれる川原先生。歴史や農業、科学など、描く題材は幅広く、「勉強になる」漫画があると知ったのは、先生の作品からでした。

オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ
吹奏楽フェスタ2016
in春日井

吹奏楽担当
=相馬加奈子

全員合奏で感動のフィナーレを!



吹奏楽ファン待望の『吹奏楽フェスタ』が初登場! 全日本吹奏楽コンクール課題曲の演奏&解説に注目です。フィナーレはMy楽器を持参して、みんなで大合奏!

6/4(土) ①10:00~ ②15:00~(開場は30分前) @春日井市民会館
[チケット情報] PiPi会員先行予約4/9(土)~12(火) ※4/11(月)はWeb予約のみ、Web先行予約4/13(水)~15(金)、一般発売4/16(土)~ [料金] 大人¥3,300、学生¥1,800(10枚以上購入の場合、学生団体割引価格¥1,500) PiPi会員は上記料金より¥300引き 全席指定、当日券同額、未就学児入場不可 [取扱い] 文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、東部市民センター窓口、電話&Web予約、チケットぴあ(Pコード288-374)

アトリウム音楽祭
出演団体募集

アトリウム音楽祭担当
=山下玄



出て楽しい、聴いて楽しい
アトリウム音楽祭

前身の「アトの祭り」から今年で12年目。次の主役はアナタです!

【秋】9/10(土)、11(日)
【春】2017/3/4(土)、5(日)
各日出演枠 ①10:00 ②11:00 ③12:00 ④13:00
⑤14:00 ⑥15:00 ⑦16:00 ⑧17:00

@文化フォーラム春日井・交流アトリウム
[申込締切日] 【秋】5/29(日)、【春】11/27(日)
[抽選会] 【秋】6/11(土) 10:00、【春】12/3(土) 10:00@文化フォーラム春日井・会議室 [運営協力費] 1団体¥5,000

林家たい平
親子落語会×独演会

落語担当
=丸山和代



大人も子どもも、笑って 脳トレ!

笑点メンバーでおなじみのたい平さん。大喜利では、難しいお題から連想を膨らませて、明るい笑顔とトンチの利いた回答で魅せてくれます。長時間に及ぶ大ネタでもしっかり記憶する噺家さんって本当にすごい! 聞いて笑って、親子で脳トレ!

5/22(日) @春日井市東部市民センター
親子落語会 11:00~12:00(開場は30分前)
[料金] おとな¥2,500、こども(小・中学生)¥1,000
独演会 14:00~(開場は30分前)
[料金] ¥3,500 PiPi会員は各料金の¥300引き 全席指定、当日券同額、未就学児入場不可 [取扱い] 文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、電話&Web予約、東部市民センター窓口、チケットぴあ(Pコード: 親子落語会449-061 / 独演会449-062)



自分史講座

書くという行為から
自分を見つめ直す

◆6/2~8/4の
毎週木曜日(10回) 19:00~21:00
【エッセイ講座】
@文化フォーラム春日井・文化活動室
文章を書くコツを身に付けながら、「自分探し」や「終活」についても考えます。
講師: 芳賀倫子
[受講料] ¥5,000



◆6/4~7/23の
毎週土曜日(8回) 19:00~21:00
【老若男女の綴り方教室・初級編】
@文化フォーラム春日井・文化活動室
文章を書くコツを身に付けながら、「自分探し」や「終活」についても考えます。
講師: 安藤錦風
[受講料] ¥4,000



[申込締切日] 各講座とも5/20(金) 必着 ※詳しくはチラシをチェック!

先生に執筆相談が出来る「自分史相談」も開催中!
週2回(火曜・金曜の午後)@日本自分史センター
無料です!(要予約)



自分史担当
=瀬在優美

施設の魅力
再発見!



自分の思い出や記憶を紐解き、ありのままに記した「自分史」。全国から寄せられた書籍を収集・保存・公開しているのが文化フォーラム春日井にある「日本自分史センター」です。全国の自治体に先駆け、平成十一年に設立されました。書籍タイトル数は七八〇〇以上! これらは読み物としてだけでなく、時代を読み解く研究資料としても活用されています。素晴らしい小説や映画は多々ありますが、ひとりの人間の人生ほど共感でき、心に迫る物語はありません。是非いろいろな人生に触れてみてください。



バレエ担当
=藤江真子

3年振りに東京バレエ団が帰ってくる!
今年の夏休みも、子どもたちを華麗なるバレエの世界へ!

「物語に付いていけるかな?」と不安なお子さまも、心配御無用! 幕間にドン・キホーテの従士サンチョ・パンサが、わかりやすく解説します。馬の口シナンテも良い。春日井のバレエ教室から子役たちの出演もあり。スペインの港町の賑やかな様子を演出する大事な役どころです。お楽しみに!

7/30(土) 15:00~(開場は30分前) @春日井市民会館
[料金] おとな¥4,800、こども¥2,500 PiPi会員は左記料金の¥300引 全席指定、当日券同額、3歳以下入場不可 [チケット情報] PiPi会員先行予約5/7(土)~11(水) ※5/9(月)はWeb予約のみ、Web先行予約5/12(木)~13(金)、一般発売5/14(土)~ [取扱い] 文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、電話&Web予約、春日井市東部市民センター窓口、チケットぴあ(Pコード450-447)

写真: Kiyonori Hasegawa

昼コン&夜コン

昼コン&夜コン担当
=林美智子



お待たせしました! 人気のコンサートシリーズが、今年も始まります!

4・5月は、管楽器をはじめ「食琴」という不思議な楽器もお目見え。聴いて観て楽しいラインナップが目白押しです。交流アトリウムにふらりと来て気軽に楽しめるこの昼コン&夜コンは、初めての生鑑賞・親子鑑賞の機会としても最適! 新生活スタートの春、昼コン&夜コンで気分もリフレッシュにGO!

@文化フォーラム春日井・交流アトリウム
入場無料

☀️ 昼コン 14:00~

クラリネット×サクソフォン
4/9(土) ×トランペット×トロンボーン×ピアノ
観て聴いて♪コロリトゥーラシアター



[演奏予定] 動物の謝肉祭、アナと雪の女王メドレー、etc

トロンボーン×ギター
5/14(土) ×ピアノ×ベース

トロンボーンで聴く! ジャズスタンダードの世界。
[演奏予定] My Favorite Things, Fly Me To The Moon, etc



🌙 夜コン 19:00~

ファゴット×ヴァイオリン
4/22(金) ×ヴィオラ×チェロ

コッテコテの古典派

[演奏予定] オーボエ4重奏曲、ファゴット4重奏曲、etc



マリンバ
5/27(金) ×食琴(オリジナル楽器)×ピアノ

木と大地と日常品のハーモニー!? “愛”言葉は『アブラカタブラ』

[演奏予定] 道化師のギャロップ、トルコ行進曲、etc



今月のお客さま vol.10

文化フォーラム春日井や春日井市民会館には、いろんな土地からいろんなお客様がいらしています。

当財団スタッフが企画した『のだめ音楽会』は、映像制作から舞台監督まで、全てを当財団スタッフが担っているコンサート。この公演には、他市の会館職員さんが視察で来られることも。その中からお二人に春日井の感想をお聞きました。

一宮市より
吉田三規さん
(アイブラザー一宮)

「当館は客席数も少なく、大きなコンサートは開催していませんでした。やはりオーケストラの生演奏は圧巻ですね! これから一宮でも素敵なコンサートを企画していきたいです」



刈谷市より
廣田佐代子さん
(刈谷市総合文化センター)

「春日井市民会館の外観はとても歴史ある佇まいですが、中はとても綺麗ですね。客席もピカピカで、古さを全く感じさせません。クラシック音楽も映像が加わると印象が違いますね」



FORUM PRESSレポーターによる「わたしレポート」

Report 132~137、139、140はHPで紹介します
www.kasugai-bunka.jp / 財団スタッフDIARY



茂木大輔の生で聴く「のだめカンタービレ」の音楽会
1/24 (日) @春日井市民会館

[Report 132] テキスト=紀瑠美



音楽を愛する『のだめ音楽会』。魅力が詰まった10年間の軌跡

春日井で生まれた『のだめカンタービレ』の音楽会が、10周年を迎えました。「クラシック音楽も、解説があれば楽しめる」という指揮者の茂木さんの言葉のとおり、『のだめ音楽会』はやっぱり楽しい。演奏に合わせて投影される漫画のシーンにもこだわりが詰まっていて、のだめファンは特に楽しんでいました。漫画のシーンを再現した『ジミヘン弾き』が始まった瞬間、待ってましたとばかりに拍手が！また最終曲では、一般公募で集まったア

マチュア演奏家45名がオーケストラに混じり、素晴らしい演奏を聴かせてくれました。

公演後の交流会で、出演者に話を聞きました。トランペット歴1年の中学生は『のだめ』の大ファン。「思いきって応募しました。オーケストラとの共演は貴重な経験です」と喜んでいました。茂木さんは初演を終えてから、再び大学で指揮を学び直したそうです。音楽を楽しむ心を大切に、進化を続ける『のだめ音楽会』。これからも楽しみです。

芸術家のお洒落な魂にふれて にっこり

現代美術というと、難解でとっつきにくいという先入観を持たれがちですが、この展示会は違いました。20代から40代の若いアーティストの作品は、どれも瑞々しく親しみやすかったです。鑑賞者が写真を撮ったりページをめくったり、まちなか展示では、古い蔵や空き店舗をそっくりそのまま使った作品もありました。当たり前のようにすれ違う「となりの人びと」も、実はアートなのだ！という洒落の効いた企画でした。これには「老若男女どの世代に

も、もっと気軽に現代美術を楽しんでほしい」という願いが裏打ちされているのでしょう。

当日は10人の作者によるアーティストトークが聞けてさらに楽しめました。作品の制作過程や意図を語る作者の風貌や語り口は、各々の作品の個性をより際立たせて鑑賞を深めてくれたと思います。あくまでさりげなく語られる芸術への熱い思いの中に、表現の場を真摯に求める初々しさが読み取られ、清々しい気持ちになりました。



となりの人びと—現代美術in春日井
アーティストトーク

1/30 (土) @文化フォーラム春日井

[Report 133] テキスト=林佳枝



テキスト・写真=スタッフ後藤友介 2月21日@「となりの人びと—現代美術in春日井」まちなか会場

となりの人びと
現代美術
in春日井

現代美術との思いがけない出会い…。
“まちなか会場”の人びとに聞きました！

1/30 (土) ~ 2/28 (日)
文化フォーラム春日井、まちなか会場

村田仁 @丸十ビル(2F)

本屋さんの奥の通路には、小学生と村田さんが協力して作った詩が並びました。いつも歩いている場所にさりげなく置かれていると、作品をととても身近に感じることができました。



伊藤書店店員さん

美術が好きなので、毎日ワクワクしていました。準備期間中には作家さんに額縁をお貸したり、会期中にはお客さまについて声を掛けて盛り上がり(笑)。日常の中に現代美術があることで、出会わない人に出会い、ちょっとした化学反応が起きた気がします。



埼玉県からのお客さま

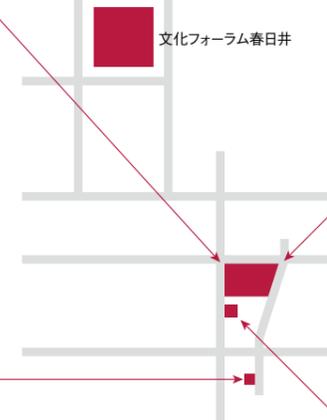
友人が近藤亜紀さんの映画に出演したので、それを目的にきました。駅からの散歩は、知らない街ならではの楽しみがありましたね。

村田仁 @蔵

目と耳で感じる作品。村田さんの詩も飾られています。道行く人が気軽に見ることができる、この詩の作品は、まちの人たちが現代美術に触れる第一歩となりまして。「蔵で読書会をしたい」という市民の方もいて、新しいアクションが起こる予感もありました。



『となりの人びと—現代美術in春日井』は、あいちトリエンナーレ2016の機運を高めようと企画された展示会でした。作品は鳥居松広小路商店街沿いの空きスペースにも展示！現代美術が身近にある日々は、まちの人々にどんな印象を残したのでしょうか？



大崎のぶゆき @丸十ビル(3・4F)

3Fの真っ暗な空間では、大崎さんが下街道を歩いて撮りためた素材を使った作品を上映。映像に包まれるような不思議な体験ができました。



会場スタッフ

最初、お客さまの頭上に「？」マークが浮かぶのですが、私のつたない説明でも「なるほど」と納得して下さって嬉しかったです。このビルには住民もいるのですが、意外にもチラ見するだけの方が多くてちょっと残念…。身近すぎたのかな？(笑)



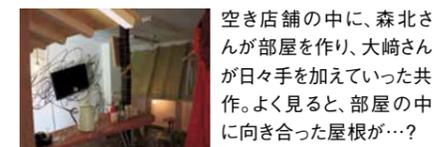
4Fでは、大崎さんの友人の記憶や記録をモチーフにした様々な作品を展示。3Fの作品とはまた違った雰囲気。



知多市からのお客さま

長者町をはじめ、『あいちトリエンナーレ』をきっかけに街が活性化したと聞きます。アートでいろんな方向に繋がるのは面白い！知らない街に来るきっかけにもなりますね。

144号室 (大崎のぶゆきwith森北伸)
@元薬局



空き店舗の中に、森北さんが部屋を作り、大崎さんが日々手を加えていった共作。よく見ると、部屋の中に向き合った屋根が…？



会場スタッフ

“ワーク・イン・プログレス”という手法で様相を日々変え続けたこの作品。多くのお客さまは一度見たきりですが、私は常駐スタッフだったので、その変化をずっと見続けられました。ちょっと役得かも!?



Q1 どこで情報誌FORUM PRESSを入手されましたか？



Q3 あなたが思う“春日井の魅力”を教えてください

Q2 今回のFORUM PRESSで、面白いと思ったページに☑を付けてください

Q4 今後、FORUM PRESSで取り上げてほしい内容や、ご意見・ご要望をお聞かせください

- P1-2 山下洋輔インタビュー「機は熟した!？」
- P3-4 歌舞伎ソムリエの「松竹大歌舞伎 徹底解説!」
- P5-7 「のだめカンタービレ」の音楽会」インタビュー
オペラ歌手 宮本益光 / 名古屋フィルハーモニー交響楽団
- P.8 この漫画を読み!「オペラ漫画」
- P9-10 INFORMATION
- P.11 展示会「となりの人びと」まちなか会場レポート
- P.12 わたしレポート
- P.13 突撃! PiPi提携ショップ「いわま楽器」
- P.14 校歌は地域をうたう vol.21

FORUM PRESS vol.73
読者アンケート

いつもFORUM PRESSをご愛読いただき、ありがとうございます。今後もより読み応えのある誌面づくりをしていくため、参考にさせていただきます。アンケートへのご協力をお願いいたします。

回答者プレゼント

抽選で次の1~3のいずれかをプレゼント!!

- ① 吹奏楽フェスタ2016 in春日井ペアチケット 6/4 (土) 15:00~ ペアチケット [2名様]
- ② かすがい日曜シネマ「ハバロッチェ」ペアチケット 5/29 (日) 16:45~ ペアチケット [2名様]
- ③ コロナワールド映画鑑賞ペアチケット 映画鑑賞ペアチケット [2名様]

アンケートの応募締切りは、
2016/5/3 (火・祝) (必着)

たくさんのご応募、お待ちしております。

※当選は発送をもって代えさせていただきます
※当選者への発送は5月中旬の予定です

突撃! PiPi 提携ショップ

レポート=スタッフ 相馬加奈子

いわま楽器

鳥居松町7-48 ■0568-81-7579
10:30~20:00(土日祝10:00~18:00)
PiPi会員カード提示で、初回お買い上げ時に10ポイントサービス

音楽のことなら、 全てお任せ!



いわま楽器スタッフの皆さん

楽器の販売・リペアに限らず、音楽教室の運営やコンサート企画など、音楽に関わる全てを取り扱う「いわま楽器」。春日井を愛し愛される楽器店として、この地で二十年以上の歴史を刻んでいます。学校との付き合いは昔から深く、高校吹奏楽協議会にも協力するなど、子どもたちの音楽環境を整えるため「お役に立てれば何でも」と日々奔走されているのが、店主の岩間一男さんです。今回は岩間さんと同郷のスタッフ 相馬が突撃レポート!



社長=岩間さん スタッフ=相馬

2人は津島市出身の先輩後輩だった!



講師陣の紹介は写真入りで。



楽器リペアは迅速丁寧の職人ワザ!



優しい指導で上達も早い!



店頭には充実の品ぞろえ。



お店の2階には、レッスン室が4部屋あります。

突撃取材を終えて スタッフ 相馬加奈子

楽しいのは音楽だけじゃない!

私へのオススメ楽器を伺うと、打楽器を紹介いただきました。演奏経験はないけど、想像するだけでワクワク! 会話だけでも楽しいのが「いわま楽器」の素敵ポイントです。何か楽器をはじめたい方、まずはお店へGO!

校歌は 地域を うたう

vol.21

歌詞からヒントを得て、
“まち”を探访する
玉川小学校

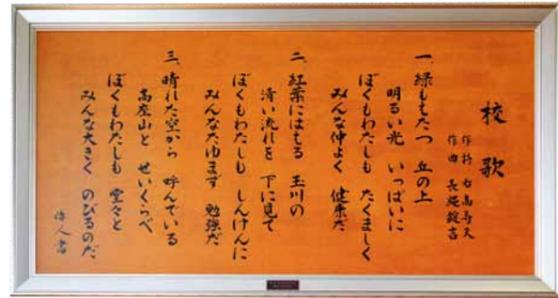
春日井市立
玉川小学校
玉野町1687
昭和24年4月開校

各学校で歌い継がれる校歌には、その土地の自然や歴史などが歌われています。今回は、戦争に翻弄されつつも自然豊かな学び舎として続く小学校をピックアップ! 歌詞を手掛かりに、春日井という“まち”に迫ります。

地

自衛隊とは、
持ちつ持たれつの関係で

昭和二十四年に設立された玉川小学校は、昭和二十七年の米軍進駐で校地・校舎とも接収されてしまいました。移転先は海拔九十三メートルの山上。校地整備には米軍のブルドーザーが出動し、子どもが米兵からチョコレイトを貰う光景もあったとか。「今は学校行事で使う竹を自衛隊から貰ったり、逆に綱引き用の綱を貸してあげたりと、共助の関係です」と語るのには教頭の吉田先生。玉野町の名について、「玉川というのは庄内川のことです。その上流から流されてきた石ころの角が取れて、輝く玉のように見えたのが由来」とのこと。玉川と高座山という豊かな自然に囲まれ、健やかに、玉のように輝く人間に育ってほしいと願っています。



講堂の横に立つ、不思議な木...。思わずニヤリ(笑) 富士山のような“山らしい”形が美しい、高座山

図書館にみんなの現代美術作品が!

いつもの何気ない図書館の風景。今日も静かに読書を...と思ったら、目の前に現れたのは謎の“島”! 実はこれ、現代美術ワークショップに参加した3年生が作った作品なのです。制作した児童たちは、「授業だと作るものが決まっているけど、自由に作っていいと言われて燃えた!」「こんな大きなものを作ったのは初めて!」など、楽しい思い出がいっぱい! その作品は図書館に飾られて、全生徒の目に触れました。「ロビンソン・クルーソーや十五少年漂流記を読みながらこの“島”を見ると、創造が膨らむ」と笑う子ども。難しいイメージのある現代美術も、子どもたちの柔軟な感性は難く受け入れたのです。



子どもたちの想像が詰まった“島”



心に束縛がない 発想豊かな子どもたち

「となりの人びと」現代美術 in 春日井に
出展した、春日井在住のアーティスト竹田尚史さん。本展覧会が始まる前、玉川小学校で現代美術ワークショップを行い、“島”を作りました。「難しそうな現代美術にもみんながスーッと入ってきて驚きました。自然に囲まれた環境のためでしょうか、子どもたちの心に束縛を感じないんです。発想も豊かで、私もたくさんのが付きを得ることが出来ました」



美術家=竹田尚史さん

読者アンケートから ご紹介

あなたが思う春日井の魅力

- 高蔵寺・ユータウンの、ムダ!? に広いところ(いえいえ、とても立派!)整備されたところも昔からの地域もあって面白いです。(50代・女性)
- 人がおせっかい。(50代・女性)
- 東部・中部・西部と各々違った問題を抱えているけれど、ボランティアやサークル活動でとても協力し合っていると思う。(60代・女性)
- 道樹山から大谷山・弥勒山と身近に自然と触れ合える場所がある。(60代・女性)
- 生活するには静かで良い環境。流石な人のイベントが多いと名古屋に出なくていいかな。(60代・男性)
- サボテンのお茶やサボテンラーメンがある。(20代・女性)
- 名古屋から近くてラーメンなど食事に来ることが多いです。身近なグルメスポットですね。(20代・女性)



(受取人)
愛知県春日井市鳥居松町5-44 文化フォーラム春日井
公益財団法人かすが市民文化財団
FORUMPRESS 編集部行



フリガナ	フリガナ	フリガナ
お名前	歳	
ご住所	〒□□□-□□□□	都道府県 市郡
お電話	※マンション・アパート名まで必ずご記入ください。	会員番号 P

※友の会 PiPi に入会されている方は会員番号もお書きください。 ※ご記入いただいた個人情報は、当財団が、当財団主催事業のために使用し、それ以外に使用、または第三者に提供することはありません。

料金受取人私郵便
春日井局 認
2018
差出有効期限
平成29年3月
31日まで

郵便はがき
486-0790
366

友の会PiPiは、こんなにお得!!



- ・一般に先駆けて申込み! ・入場料が割引に!
- ・最新情報をご自宅にお届け! 他にもまだまだ特典あり!

レギュラー会員 ¥2,000 / ゴールド会員 ¥3,000 / プラチナ会員 ¥10,000

お電話一本で入会できます! ☎ **0568-85-6078**

かすがい市民文化財団 主催事業 チケットインフォメーション

チケット予約方法

1. Web予約

当財団ホームページから「オンラインチケットの予約・購入」をご利用ください。

文化はかすがい

検索

※全席指定公演についてはお好きな座席を選べます(一部公演を除く)。
※事前にWeb会員登録(無料)を行い、会員IDとパスワードを取得してください(PiPi会員は登録不要)。

2. 電話予約

PiPi会員の方 (受付時間 9:00~17:00)

PiPi会員専用 先行予約電話

☎ **0568-85-6078**

※会員先行予約期間のみ、先行予約を受け付けます。
※先行予約日が会員期限内であれば先行予約が可能です。また、チケット購入日が会員期限内であれば、割引特典が受けられます。

一般の方 (受付時間 9:00~21:30)

☎ **0568-85-6868**

※チケット発売初日のみ、10:00からの受け付けとなります。

チケット引取方法

1. 窓口で引取り

- ◆文化フォーラム春日井・文化情報プラザ (休館日を除く9:00~19:00)
- ◆春日井市東部市民センター窓口 (年末年始を除く9:00~12:00、13:00~17:00)
- ※取置き期間は2週間です。
- ※PiPi会員先行予約チケットの受取りは一般発売日以降になります。

2. 郵送で引取り (代金引換サービス)

郵便局の代金引換サービスで、ご自宅にチケットをお届けいたします。
チケットと引換えに郵便局員に指定の代金をお支払いください。
※ご予約後、1週間程度でお届けします。日にち・時間の指定はできません。
※チケット代金の他に、代金引換手数料として¥500程度が必要です。

3. セブン-イレブンで引取り

お近くのセブン-イレブンの店頭にて引取りが出来ます。
※チケット代金の他に、決済手数料(1件につき¥162)と発券手数料(チケット1枚につき¥108)が必要です。

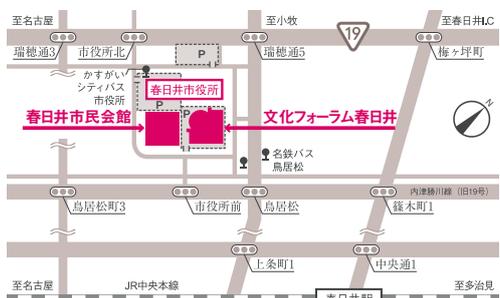
チケット一般発売初日の販売開始時間

- [9:00~] ●文化フォーラム春日井2階・文化情報プラザ
- 春日井市東部市民センター窓口
- [10:00~] ●かすがい市民文化財団 / 電話&Web予約
- チケットぴあ / スポット / 電話予約
- コンビニ (サークルK、サンクス、セブン-イレブン) での直接購入
- ローソンチケット / 電話予約 / ローソン・ミニストップでの直接購入
- セブンチケット / セブンイレブン マルチコピー機での直接購入
- イープラス / ファミリーマートファミポートでの直接購入

※前売完売の場合、当日券はありません。 ※記載価格は税込です。
※予約済チケットや購入済チケットのキャンセル・払戻しはできません。

文化フォーラム春日井 / 春日井市民会館
www.kasugai-bunka.jp follow us @kasugai_bunka

486-0844 愛知県春日井市鳥居松町5-44
[休館日] 月曜日 (祝休日の場合は翌平日)、12/29~1/3



交通のご案内

JR中央本線「春日井駅」北口より
・名鉄バス「鳥居松」下車すぐ
・徒歩 20分
・無料レンタサイクル 5分 (日・祝休み)
かすがいシティバスでお越しの方
・「市役所」下車すぐ
※駐車場は混雑が予想されます。なるべく公共交通機関や乗合車をご利用ください。

津軽三味線 **馬場淳史**
5th ANNIVERSARY SPECIAL LIVE
二人の春日井広報大使による 夢のコラボレーション
5/15 (日) 14:00~
文化フォーラム春日井・視聴覚ホール
[出演] 馬場淳史 (津軽三味線 春日井広報大使)
牧哲也 (Piano)、山田信晴 (Percussion)
[ゲスト] DAIKI (ILLUSIONIST・春日井広報大使)
前売 ¥2,000 当日 ¥2,500
※PiPi会員1割引、全自由席、未就学児入場不可
お問合せ 090-9337-3069 (馬場)
文化フォーラム春日井・文化情報プラザにて好評発売中!

かすがい市民文化財団では、小中高生を中心とする青少年が、文化に親しむことができる環境づくりのために鑑賞サポートプログラムを設けています。
青少年鑑賞サポートプログラム

クラシック音楽 **5月**
茂木大輔と宮本益光の生で聴く「のだめカンタービレ」の音楽会

歌舞伎 **7月** 落語 **10月** 狂言 **2017年 1月**
いちかわめいごろう 市川染五郎
やなぎやまきょうたろう 柳家喬太郎
はながたきょうげん 花形狂言

演劇 **10月** 朗読 **11月**
演劇集団キャラメルボックス 「嵐になるまで待って」(2008年上演) 撮影:伊東和則
くわしま ほうこ 桑島法子

価格 小中高生 優待価格 **500円**
申込み方法 各公演の一般発売日の10時より、かすがい市民文化財団HPにて申込みを受付ます。
締切 各公演日の2日前まで 受付いたします。ただし、定員に達し次第、締め切りますのでご注意ください。各公演の状況は、かすがい市民文化財団HPの各公演情報をご確認ください。
定員 各会場の1割を目安としています。
チケット 公演当日、会場に鑑賞券引換ハガキをご持参ください。ハガキと引換にチケットをお渡しいたします。
小学生の鑑賞について 小学生がこのプログラムを利用される場合、必ず保護者の同伴をお願いいたします。保護者の方は、隣の席でご用意いたします。保護者は、一般価格または友の会PiPi会員価格となります。